

ニュース JAFIC EYE No.99

駐在員報告（銚子12月）

1. 概要

(1) 一艘まき網

12月に入ってもさば類、中羽イワシは好漁が続き1日6,000t超えの水揚げもあって、7回の臨時休漁が実施された。また、全般に時化多く7日間のみの出漁。一部の船はイナダ漁を行った。

(2) 二艘まき網

12月に入っても魚群（イナダ、マアジ、中羽イワシ、マサバ）は少ないうえに薄い。全体ではイナダ60t、中羽イワシ90t、マサバ180tの漁獲で、船間差が大きく近年にない極めて低調な漁模様となった。

2. さば類

(1) 漁況（主に一艘まき網）

群が大群のため1網200t以上の好漁で推移し、1日6,000t超の水揚げもあった。一部の船では破網もみられた。

水揚げは当初は銚子～八戸まで分散したが、漁場の南下に伴い銚子～気仙沼となった。銚子では10日間で1日560～6,300tの水揚げとなった。

① 上～中旬

1日は金華山南～富岡沖で1網40～590t漁獲。その後富岡～四倉沖に南下して1網20～500tの安定した漁場が形成された。

② 下旬

24日は更に南下して塩屋埼～汲上沖（一の島N25海里）水温16.6℃で1網10～426t漁獲。一部中羽イワシの混じりもみられた。

(2) 魚体・魚価

一艘まき網の魚体は150g～1.2kg、350g前後中心で400g以上10～40%だが、200～300g中心もみられるようになった。漁場の南側で大型魚が漁獲されることが多かったが、漁場北側でも大型魚が漁獲された。

二艘まき網の魚体（マアジ混じり）は、110～380g、200g大半や、ゴマサバ（ウルメ混じり）は100～350gで200g大半もあった。21日汲上沖のマサバは180～720g、350g前後中心で400g以上15%。魚価は93.9～90.9円/kgであった。



12/21 石巻港に水揚げされたマサバ

3. 中羽イワシ

(1) 漁況（主に一艘まき網）

マサバ中心の漁獲で、魚価も中羽イワシがマサバより安値となったため、操業船は1～4統と少ない。銚子での中羽イワシは6日間で1日1～18隻、平均2～5隻の水揚げであった。

① 上旬

1日は金華山～富岡沖で3統操業、1網140～280t漁獲。

② 中～下旬

16,19,21日は塩屋埼沖で1網20～290t（一部マサバ混じり）漁獲。

(2) 魚体・魚価

40～140g、60～80g中心で100g以上5～10%程度。21日は小中羽イワシ70t漁獲し、40～110g、50～60g中心で90g以上若干であった。二艘まき網は汲上沖（一の島N22海里）で1網7～90t漁獲し、魚体は40～95g、50～60g中心、90g以上若干であった。

魚価は、100～15円/kg、平均59.4～22.5円/kgで推移した。21日の二艘まき網は52～42円/kgであった。

4. イナダ

(1) 一艘まき網

さば類、中羽イワシに併せてイナダも南下しており、3日間には1統が一の島E7海里の操業となり、全般に1網2～65t漁獲。

銚子港での水揚げは5日に128tがあり、魚体は4～7.5kg、4～5kg中心で6kg以上10～20%で、魚価は295～250円/kg、平均268.2円/kgであった。

22日には3隻が出漁して1～35t水揚げ。魚体は4～8kg、5～6kg中心で7kg以上7～10%と、600g～2kg、1kg前後中心で1.5kg以上10～20%があり、魚価は5～6kg中心で216～260円/kg、1kg前後中心で161～135円/kgであった。

(2) 二艘まき網

13,24日に一の島N17～22海里で操業したが群数が少なく薄群れが多いため30～60t、1網では10t以下も多く船間差の大きい低調な漁況で推移した。

魚体は13日に4～10kg、4～5kg中心で6.5kg以上20%、魚価は781～730円/kg、平均755.9円/kgであった。24日は600g～4kg、1kg前後中心で1.5kg以上10～20%、魚価は150～76円/kg、平均126.1円/kgであった。

5. カスゴ（春子；小鯛）

7,8日に1～2隻の水揚げがあった。漁場は犬吠埼ESE6～SE8海里で、2統が操業、1網200kg～5t漁獲。

魚体は120～650g、150～190g中心で200g以上10～20%と、250g前後中心で450g以上10～20%であった。

魚価は7日が400円/kg、8日335～150円/kg、平均221.5円/kg。

6. マアジ

二艘まき網は4日に一の島ENE7海里で操業、1網2～14t漁獲。16日は犬吠埼7海里で4統が2～6t漁獲。

魚体は130～250g、180g中心で200g以上5～20%、サバ20～30%混じりで、魚価は198～64.7円/kg、平均88.4～187.7円/kg。

5日は一艘まき網1統が一の島NE7海里で1網2t漁獲。魚体は130～240g、180g中心で200g以上10%、魚価は180円/kgであった。

7. サンマ

11月は茨城県沖で近年になく長く漁獲が続いたが、さば類、中羽イワシ群の南下に伴いサンマ群が減少したうえ薄くなり、各船再び北上して原釜～金華山での操業となった。1晩1隻2～30t、大半が15t以下の低調な漁獲。魚体は145～30gで100g以下のジャミも多く、大-0割、中-0割、小-10割～0-1-9となり、魚価も安値を示した。

銚子のサンマ水揚げは、2,5,9,16日で、魚価は日毎に85.8円/kgから40円/kgまで下がった。

（JAFIC銚子駐在所所長 鈴木榮一）